

こども・若者が輝き、 共に生きるまちを創る

—多職種連携によるこども・若者の社会的包摂を目指して—

基調講演

「NHKプロフェッショナル仕事の流儀」にもご出演された
佐賀県から来道される谷口 仁史氏からの提言！

不登校・ひきこもり・非行・ニートなど、学校や社会との「つながり」を失い、孤立するこども・若者の増加、児童虐待、貧困、保護者の精神疾患など複合化した課題を抱える家庭も少なくありません。「助けて」と声を上げることが容易ではない日本社会において、「社会的孤立」に関わる大人たちが、こども・若者と、どう『繋がる』と良いのか、『繋がり続ける』にはどうしたら良いのか。アウトリーチと伴走型支援の専門家からご講演いただきます。

定員150名

12.7(土)

13:00~16:30

12:30開場

開催概要

- 会場** 江別市民会館 37号室
(江別市高砂町6)
- 参加費** おとな 1,500円
学 生 500円(学生証提示)
- 申込み** 事前申し込み(〆切11月29日(金))
QRコードよりアクセスできます

講師

谷口 仁史 氏

認定NPO法人
スチューデント・
サポート・フェイス
代表理事



プログラム

13:00 基調講演

『どんな境遇の子どもも見捨てない！』
～若者の社会的孤立を生まないために～
「ひきこもり」問題による「来訪型」の支援の限界と
「訪問型」支援の在り方の検討

14:30 パネルディスカッション

ファシリテーター

北翔大学心理カウンセリング学科
准教授 澤 聡一 氏(スクールカウンセラー(江別市))

オブザーバー

谷口 仁史 氏

パネリスト

- 宮城なぎさ氏(那覇市役所・ボランティア団体てんとてん)
- 鷲見 光 氏(石狩市ひきこもりサポートセンター
相談室まるしゅ)
- 内田知寿氏(指定特定相談支援・障害児相談支援事業
相談室ゆーべる(江別市))

16:30 終了

お申込み
お問合せ

WEBフォームにてお申込みください

メールでのお問い合わせは



e.kodomo.wakamono2024@gmail.com

こども・若者未来づくり会議 IN EBETSU



【主催】こども・若者の未来づくり会議 IN EBETSU 実行委員会

【共催】特定非営利活動法人みなば、一般社団法人北海道臨床心理士会、江別子ども若者支援連絡協議会

【後援】江別市、江別市教育委員会

Profile

谷口 仁史（たにぐち ひとし）

1976 年生まれ、佐賀県武雄市出身。

○認定特定非営利活動法人「スチューデント・サポート・フェイス」代表理事

（子ども若者育成・子育て支援功労者表彰「内閣総理大臣表彰」受賞）

（公益財団法人社会貢献支援財団「平成 26 年社会貢献者表彰」受賞）

（地方自治法施行 70 周年記念「総務大臣表彰」受賞）

（「佐賀さいこう表彰（協働部門）」受賞）

○前さが若者サポートステーション総括コーディネーター

○佐賀県子ども・若者総合相談センター長

○佐賀県ひきこもり地域支援センター「さがすみらい」センター長



*NHK『プロフェッショナル仕事の流儀』

平成 27 年 8 月 31 日放送出演

*NHK『地域魅力化ドキュメント ふるさと
グングン!』

平成 29 年 11 月 19 日放送出演

*NHK『TV シンポジウム』(E テレ)

平成 30 年 12 月 15 日、令和元年 10 月 19
日放送出演

佐賀大学文化教育学部卒業。在学中からボランティアで不登校、ニート等の状態にある子ども・若者へのアウトリーチ（訪問支援）に取り組む。卒業後、大学教授ら有志を募り「NPO スチューデント・サポート・フェイス（略称 S.S.F.）」を設立。令和 6 年 3 月末日現在、委託事業を含む約 76 万 9 千件の相談活動、約 6 万 7 千件のアウトリーチに携わった他、市民活動団体を含む幅広い支援機関とのネットワークの構築や「職親制度」等社会的受け皿の創出、執筆や講演活動など多彩な活動を通じて、社会的孤立・排除を生まない支援体制の確立を目指している。

近年はその実績が認められ公的委員を歴任。アウトリーチに関しては、「若年者向けキャリア・コンサルティング研究会」、「高校中退者等アウトリーチワーキンググループ」で委員を務めた他、生活困窮者自立支援法に係る「社会保障審議会特別部会」、子ども・若者育成支援推進法に係る「子ども・若者育成支援推進点検・評価会議」等政府系委員も務め、全国的な取組の推進に貢献している。

【共著】『スクールソーシャルワーク実践技術』北大路書房（2015.12）

『ひきこもりの心理支援～心理職のための支援・介入ガイドライン～』金剛出版（2017.11）

『社会のしんがり』新泉社（2020.3）

『伴走型支援～新しい支援と社会のカタチ～』有斐閣（2021.8）

パネリスト Profile



宮城 なぎさ（みやぎ なぎさ）

沖縄県那覇市役所 福祉部保護管理課自立支援班・ボランティア団体てんとてん

臨床心理士

乳児院、精神科デイケア、重症心身障害児者・神経難病病棟を経て、現在は生活保護世帯の子どもたちのサポート及びクリニックにて児童発達支援に従事。ボランティア団体てんとてん代表。



鷲見 光（すみ ひかり）

石狩市ひきこもりサポートセンター 相談室まるしゅ

臨床心理士・公認心理師

北海道生まれ。児童精神科クリニック、小・中・高校・大学のカウンセラーを経て、石狩市ひきこもりサポートセンターにて、不登校・ひきこもり支援に従事。



内田 知寿（うちだ ともひさ）

指定特定相談支援・障害児相談支援事業 相談室ゆーべる（江別市）

社会福祉士・介護福祉士・主任相談支援専門員

新潟県生まれ。高校卒業後に自衛隊に入隊して北海道に配属。その後、福祉の専門学校を卒業して児童養護施設、委託の相談支援事業所を経て、江別市にて現職。

こども・若者の未来づくり会議 IN EBETSU 実行委員会

NPO法人みなば



（一社）北海道
臨床心理士会



江別子ども・若者
支援連絡協議会



この講演事業は、認定NPO法人北海道NPOファンド「小林董信基金」個人の能力向上支援助成
一般社団法人日本臨床心理士会「市民の集い補助金」により実施しています。